

2021年度 シラバス

科目名	メイク	区分	選択	授業時数	150時間	対象学年	2年
担当教員	井上 木梨 齒染原 原	実務経験	有	コース	メイクコース		
学修内容	メイクアップをデザインする上で必要な3要素（色、形、質感）について理解し、それぞれの要素を組み合わせたメイクアップデザインを構成し実習。テストにて理解力の確認を行い、ひとりひとりにレクチャーを行う。最終的に卒業制作としてカメラマンによるフォトシューティングにて作品を制作、およびアイブロウ、アイラッシュ技術の習得。						
到達目標	技術力とメイクアップの構成を実習で確認できるカリキュラムを組み、テーマをメイクアップで表現できることを目的とする。また、クリエイティブワークに進むために必要なプレゼンテーション能力やデザイン画の作成や卒業制作などで、自身の表現力が最大限に発揮できることを目的とする。						
授業の方法	テーマ、デザインに適した化粧品、ツール、技術を選択しメイクアップを構成することが出来る事。						
成績評価の方法と基準	終了制作で評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	特になし						
実務経験に基づく授業内容	サロンでの業務の中に授業で伝授する顔分析やパーソナルカラー診断が含まれており、日々移り変わっていくトレンドやその時の情勢も授業にリアルに落とし込んでいる						
使用教材・教具	資生堂メイク・MAC・ソティス・メイク道具一式・プロアイリスト理論1～初級～						
履修に当たっての留意点	特になし						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容				備 考	
第1回	ベースメイクアップ レッスン 【色】	完璧なベース作りを目指す					
第2回							
第3回							
第4回	眉4つの バリエーション 【形】	トリミング方法、基本眉、シャープ眉					
第5回							
第6回							
第7回	眉5つの バリエーション 【形】	アーチ眉、ストレート眉					
第8回							
第9回							
第10回	アイメイクの バリエーション① 【形】	シングルパターン（大きな目元）					
第11回							
第12回							
第13回	アイメイクの バリエーション② 【形】	ダブルパターン（切れ長な目元）					
第14回							
第15回							
第16回	チークの バリエーション 【形】	基本形、シャープ、キュート					
第17回							
第18回							
第19回	リップの バリエーション 【形】	基本形、シャープ、キュート					
第20回							
第21回							
第22回	【質感】①	マットな質感でフルメイク					
第23回							
第24回	【質感】②	パールな質感でフルメイク					
第25回							
第26回							
第27回	総復習①	色、形、質感などのテーマを決めて （基本形）					
第28回							
第29回							
第30回	総復習②	色、形、質感などのテーマを決めて （シャープ）					
第31回							
第32回							
第33回							

2021年度 シラバス

科目名	メイク	区分	選択	授業時数	150時間	対象学年	2年
担当教員	井上 木梨 歯朶原 原	実務経験	有	コース	メイクコース		
学修内容	メイクアップをデザインする上で必要な3要素（色、形、質感）について理解し、それぞれの要素を組み合わせたメイクアップデザインを構成し実習。テストにて理解力の確認を行い、ひとりひとりにレクチャーを行う。最終的に卒業制作としてカメラマンによるフォトシューティングにて作品を制作、およびアイブロウ、アイラッシュ技術の習得。						
到達目標	技術力とメイクアップの構成を実習で確認できるカリキュラムを組み、テーマをメイクアップで表現できることを目的とする。また、クリエイティブワークに進むために必要なプレゼンテーション能力やデザイン画の作成や卒業制作などで、自身の表現力が最大限に発揮できることを目的とする。						
授業の方法	テーマ、デザインに適した化粧品、ツール、技術を選択しメイクアップを構成することが出来る事。						
成績評価の方法と基準	終了制作で評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	特になし						
実務経験に基づく授業内容	サロンでの業務の中に授業で伝授する顔分析やパーソナルカラー診断が含まれており、日々移り変わっていくトレンドやその時の情勢も授業にリアルに落とし込んでいる						
使用教材・教具	資生堂メイク・MAC・ソティス・メイク道具一式・プロアイリスト理論1～初級～						
履修に当たっての留意点	特になし						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容				備 考	
第34回	総復習③	色、形、質感などのテーマを決めて (ラウンド)					
第35回							
第36回							
第37回	メイクアップデザインの要素をふまえたイメージ構成と実習①	テーマ→フレッシュ					
第38回							
第39回							
第40回	メイクアップデザインの要素をふまえたイメージ構成と実習②	テーマ→キュート					
第41回							
第42回							
第43回	メイクアップデザインの要素をふまえたイメージ構成と実習③	テーマ→クール					
第44回							
第45回							
第46回	メイクアップデザインの要素をふまえたイメージ構成と実習④	テーマ→エレガント					
第47回							
第48回							
第49回	メイクアップデザインの要素をふまえたイメージ構成と実習⑤	テーマ→ブライダル					
第50回							
第51回							
第52回	80年代メイク	80年代を意識したダブルラインを使ったアイメイク中心のレッスン					
第53回							
第54回							
第55回	和装メイク	和装メイク					
第56回							
第57回							
第58回	イエローベース ブルーベース	イエローベース ブルーベース					
第59回							
第60回							
第61回	動物メイク	動物メイク 顔面を使って動物になろう					
第62回							
第63回							
第64回	老人メイク	老人メイク					
第65回							
第66回							

2021年度 シラバス

科目名	メイク	区分	選択	授業時数	150時間	対象学年	2年
担当教員	井上 木梨 齒染原 原	実務経験	有	コース	メイクコース		
学修内容	メイクアップをデザインする上で必要な3要素（色、形、質感）について理解し、それぞれの要素を組み合わせたメイクアップデザインを構成し実習。テストにて理解力の確認を行い、ひとりひとりにレクチャーを行う。最終的に卒業制作としてカメラマンによるフォトシューティングにて作品を制作、およびアイブロウ、アイラッシュ技術の習得。						
到達目標	技術力とメイクアップの構成を実習で確認できるカリキュラムを組み、テーマをメイクアップで表現できることを目的とする。また、クリエイティブワークに進むために必要なプレゼンテーション能力やデザイン画の作成や卒業制作などで、自身の表現力が最大限に発揮できることを目的とする。						
授業の方法	テーマ、デザインに適した化粧品、ツール、技術を選択しメイクアップを構成することが出来る事。						
成績評価の方法と基準	終了制作で評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	特になし						
実務経験に基づく授業内容	サロンでの業務の中に授業で伝授する顔分析やパーソナルカラー診断が含まれており、日々移り変わっていくトレンドやその時の情勢も授業にリアルに落とし込んでいる						
使用教材・教具	資生堂メイク・MAC・ソティス・メイク道具一式・プロアイリスト理論1～初級～						
履修に当たっての留意点	特になし						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容					備 考
第67回	50年代メイク	50年代 マリリンモンロー（模写）					
第68回							
第69回							
第70回	60年代メイク	60年代 ツイッギー（描きまつ毛）					
第71回							
第72回							
第73回	春夏トレンドメイク	トレンドメイクとは					
第74回		相モデルメイク					
第75回		相モデルメイク					
第76回		相モデルメイク					
第77回		相モデルメイク					
第78回	撮影用メイク	デザイン画の重要性・撮影時に必要な知識					
第79回		相モデルメイク					
第80回		相モデルメイク					
第81回		相モデルメイク					
第82回		相モデルメイク					
第83回	ショーメイク	舞台・ファッション・眉つぶし					
第84回		相モデルメイク					
第85回		相モデルメイク					
第86回		相モデルメイク					
第87回		相モデルメイク					
第88回	粉メイク	水溶性白粉・アクアカラー・ボディクレンジング方法					
第89回		相モデルメイク					
第90回		相モデルメイク					
第91回		相モデルメイク					
第92回		相モデルメイク					
第93回	秋冬トレンド	2019年秋冬メイク					
第94回		相モデルメイク					
第95回		相モデルメイク					
第96回		相モデルメイク					
第97回		相モデルメイク					
第98回		相モデルメイク					
第99回		相モデルメイク					
第100回		相モデルメイク					
第101回		相モデルメイク					
第102回		相モデルメイク					

2021年度 シラバス

科目名	メイク	区分	選択	授業時数	150時間	対象学年	2年
担当教員	井上 木梨 齒染原 原	実務経験	有			コース	メイクコース
学修内容	メイクアップをデザインする上で必要な3要素（色、形、質感）について理解し、それぞれの要素を組み合わせたメイクアップデザインを構成し実習。テストにて理解力の確認を行い、ひとりひとりにレクチャーを行う。最終的に卒業制作としてカメラマンによるフォトシューティングにて作品を制作、およびアイブロウ、アイラッシュ技術の習得。						
到達目標	技術力とメイクアップの構成を実習で確認できるカリキュラムを組み、テーマをメイクアップで表現できることを目的とする。また、クリエイティブワークに進むために必要なプレゼンテーション能力やデザイン画の作成や卒業制作などで、自身の表現力が最大限に発揮できることを目的とする。						
授業の方法	テーマ、デザインに適した化粧品、ツール、技術を選択しメイクアップを構成することが出来る事。						
成績評価の方法と基準	終了制作で評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	特になし						
実務経験に基づく授業内容	サロンでの業務の中に授業で伝授する顔分析やパーソナルカラー診断が含まれており、日々移り変わっていくトレンドやその時の情勢も授業にリアルに落とし込んでいる						
使用教材・教具	資生堂メイク・MAC・ソティス・メイク道具一式・プロアイリスト理論1～初級～						
履修に当たっての留意点	特になし						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容				備 考	
第103回	ハロウィンメイク	傷・やけど・ペイント					
第104回							
第105回		相モデルメイク					
第106回							
第107回		相モデルメイク					
第108回							
第109回	作品作り	ロケハン・実習					
第110回							
第111回		セルフ撮影					
第112回							
第113回							
第114回							
第115回	ものまねメイク	石原さとみ風メイク					
第116回							
第117回		相モデルメイク					
第118回							
第119回		相モデルメイク					
第120回							
第121回	総復習						
第122回		総復習					
第123回							
第124回							
第125回							
第126回	アイブロウとは	上がり眉や下がり眉など眉の印象の変化について学ぶ 眉の名称 バランスの良い毛の流れ、描き方 アイブロウコスメの種類、眉に合わせた選び方、眉色の選び方					
第127回	アイブロウとは	上がり眉や下がり眉など眉の印象の変化について学ぶ 眉の名称 バランスの良い毛の流れ、描き方 アイブロウコスメの種類、眉に合わせた選び方、眉色の選び方					
第128回	描き方	前回授業の復習と共に確認 アイブロウ道具の商品名から使い方、手の動かし方 自眉にバランス良く自身で描いていく 眉のお手入れ方法（カットの仕方） アイブロウサザーズの持ち方、指の動かし方 安全に怪我がないよう手の甲や腕の毛でアイブロウカット練習					

2021年度 シラバス

科目名	メイク	区分	選択	授業時数	150時間	対象学年	2年
担当教員	井上 木梨 齒染原 原	実務経験	有			コース	メイクコース
学修内容	メイクアップをデザインする上で必要な3要素（色、形、質感）について理解し、それぞれの要素を組み合わせたメイクアップデザインを構成し実習。テストにて理解力の確認を行い、ひとりひとりにレクチャーを行う。最終的に卒業制作としてカメラマンによるフォトシューティングにて作品を制作、およびアイブロウ、アイラッシュ技術の習得。						
到達目標	技術力とメイクアップの構成を実習で確認できるカリキュラムを組み、テーマをメイクアップで表現できることを目的とする。また、クリエイティブワークに進むために必要なプレゼンテーション能力やデザイン画の作成や卒業制作などで、自身の表現力が最大限に発揮できることを目的とする。						
授業の方法	テーマ、デザインに適した化粧品、ツール、技術を選択しメイクアップを構成することが出来る事。						
成績評価の方法と基準	終了制作で評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	特になし						
実務経験に基づく授業内容	サロンでの業務の中に授業で伝授する顔分析やパーソナルカラー診断が含まれており、日々移り変わっていくトレンドやその時の情勢も授業にリアルに落とし込んでいる						
使用教材・教具	資生堂メイク・MAC・ソティス・メイク道具一式・プロアイリスト理論1～初級～						
履修に当たっての留意点	特になし						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容				備 考	
第129回	描き方	前回授業の復習と共に確認 アイブロウ道具の商品名から使い方、手の動かし方 自眉にバランス良く自身で描いていく 眉のお手入れ方法（カットの仕方） アイブロウシザーズの持ち方、指の動かし方 安全に怪我がないよう手の甲や腕の毛でアイブロウカット練習					
第130回	アイブロウシザーズ &実技	前回授業の復習確認 デモンストレーションにてアイブロウを整え描いてみせる 相モデルで似合わせアイブロウ実技&話法確認					
第131回	アイブロウシザーズ &実技	前回授業の復習確認 デモンストレーションにてアイブロウを整え描いてみせる 相モデルで似合わせアイブロウ実技&話法確認					
第132回	似合わせアイブロウ	相手を覚えてシザーズ&似合わせ実技&話法					
第133回	似合わせアイブロウ	相手を覚えてシザーズ&似合わせ実技&話法					
第134回	最終アイブロウ	右眉にクールな眉実技&左眉にキュートな眉実技 話法確認					
第135回	最終アイブロウ	右眉にクールな眉実技&左眉にキュートな眉実技 話法確認					
第136回	まつげエクステとは	まつげエクステ概論、現状					
第137回	装着方法	ツイザーワーク、ラッシュの掴み方、まつげのかき分け方、グルーの塗布、根元の距離、根元の位置、毛先の方向性、手順					
第138回	装着練習	デザイン装着～セクシースタイル～ 9・10・11・12・13mm使用					
第139回	衛生学	道具の衛生（ツイザー、グループレート、ラッシュ）、技術者の衛生（衛生手洗い、手指消毒、服装、頭髪）					
第140回	商材学	グルー、ツイザー、ラッシュ					
第141回	装着練習	デザイン装着～キュートスタイル～ 9・10・11・12mm使用					
第142回	長持ち装着のポイント	根元リフト、装着面、選択するラッシュ、グルーの量					
第143回	カウンセリング	まつげエクステのメリットデメリット、顧客への説明、注意事項、					
第144回	装着練習	デザイン装着～エレガントスタイル～					
第145回	筆記試験	筆記試験（理解度チェック）					
第146回	デザイン考案	各自3種類以上の長さのラッシュを使用したデザインを考える					
第147回	装着練習	考えたデザインを装着⇒作品提出					
第148回	お顔の分析	まつげ、まぶた、骨格分析する					
第149回	デザイン考案	分析にもとづくデザイン考案					
第150回	装着	考案したデザインの装着⇒提出					